

平成27年第12回定例教育委員会

平成27年12月25日(金)午後2時03分
江別市教育庁舎 大会議室

出席者	委員長 委員 委員 委員 教育長	支 部 英 孝 上 野 聡 志 郷 早 見 橋 本 幸 子 月 田 健 二	説明員	教育部長 齊 藤 俊 彦 教育部次長 萬 直 樹 学校教育支援室長 総務課長 伊 藤 忠 信 総務課参事 大 村 勇 二 総務課参事 錦 戸 康 成 総務課参事 三 富 一 義 総務課主幹 松 崎 英 明 学校教育課長 金 子 武 史 教育支援課長 浦 田 和 秀 給食センター長 内 藤 信 治 対雁調理場長 鈴 木 正 春 生涯学習課長 佐々木 倫 子 スポーツ課長 岩 渕 淑 仁 情報図書館長 原 田 昭 彦 郷土資料館長 小 林 則 幸 総務課総務係長 星 野 崇 志 記録員 傍聴者 なし
-----	------------------------------	---	-----	--

1 報告事項

- (1) 平成27年第4回江別市議会定例会の一般質問について
- (2) 平成28年度学校選択制にかかる申請状況について
- (3) 平成27年度第2回学校一斉公開アンケート集計結果について
- (4) 平成28年成人のつどいの開催について

2 審議事項

- (1) 平成27年議案第46号
職員の休職発令について
- (2) 平成27年議案第47号
平成26年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について
- (3) 平成27年議案第48号
平成28年度江別市一般会計教育予算要求案について
- (4) 平成27年議案第49号
平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への掲載同意について

3 その他

- 各課所管事項について
 - (1) 情報モラルリーフレットの配布について
- 次回教育委員会予定案件について
- 平成28年第1回定例教育委員会の日程について

会 議 録

支部委員長

(開会)

それでは、ただいまから、「平成27年第12回定例教育委員会」を開会いたします。
本日の議事日程は配付のとおりであります。

会議に先立ち、本日の会議録署名人を橋本委員にお願いいたします。

議事に入ります前にお諮りしたい事項がございます。

議案第46号「職員の休職発令について」は、人事案件でありますことから、秘密会による審議を提案するものでございます。これにご異議ございませんか。

(一同了承)

委員の皆様のご賛同が得られましたので、議案第46号は秘密会により進行いたします。

本件を本日の審議順の最初に行い、秘密会終了後は、その他の説明員入室のため暫時休憩いたします。

その後、配付の会議次第にしたがって進行してまいります。

<秘密会につき、会議録省略>

支部委員長

委員会を再開します。議事に入ります。

1の報告事項(1)「平成27年第4回江別市議会定例会の一般質問について」の報告を求めます。齊藤教育部長お願いします。

齊藤教育部長

平成27年第4回江別市議会定例会の一般質問についてご報告いたします。

教育委員会関係分は、12月7日から9日までの3日間で、6名の議員から一般質問がありました。資料の2ページ以降をお開きください。

はじめに、内山議員から、差別解消を目指すまちづくりに関連して、ディスレクシア等への対応についての質問があり、答弁では、「来年4月施行の障害者差別解消法の目的から、学校教育分野においても、適切な合理的配慮の下、障がいのある児童生徒の個別の教育的ニーズに的確に応える指導を行うことが重要とされている。

ディスレクシアとは、知的に問題はなく、視覚や聴覚にも異常がないものの、読み書きに著しい困難を持つ症状を指し、市内の小中学校には、該当すると思われる児童生徒が数名いることを把握している。

各学校には、特別支援教育の校内委員会が設置され、学習上の困難を抱える児童生徒の把握に努めているところであり、ディスレクシアについても、学校又は家庭での気づきによって見つかっていることから、今後も教職員に対して理解と認識を深めるよう、改めて周知を図っていく。

市教委では、ディスレクシアへの対応として、通級指導教室において、障がいに応じた特別な指導を個別に行ったり、特別支援教育専門家チームや医療機関等の助言を得て、教育内容の充実や指導方法の改善を図ったりしており、文字認識が困難な場合は、電子黒板等を活用して文字と一緒に音声を聞かせること等の配慮を行っている。

市教委としては、今後も法の趣旨を踏まえ、ディスレクシアに限らず、学習上の困難を抱えている児童生徒に対して、合理的な配慮を行っていきたい。」と、答えています。

次に、裏議員から、学校等における歯科保健対策に関連して、学校等におけるフッ化物洗口の導入についての質問がありました。同議員からは、平成23年及び24年にも同様の質問があり、今回の質問は、道教委から平成26年に導入の要請があった以降、市教委としてどのような検討がなされたのかなどを問うものであり、答弁では、

「むし歯は、歯を失う最大の原因であり、特に学齢期における、むし歯予防の取組は大切であると認識している。

フッ化物洗口については、厚労省が平成15年のガイドラインの中で歯や口腔の健康づくりを推進する上での有効な手段として提示しており、道教委からも、これまで全道の市町村に対し、学校におけるフッ化物洗口の推進について、積極的に取り組むよう要請がなされている。

市教委としては、道教委からの要請を踏まえ、実施について様々な検討をしているところであるが、導入に当たっては、できる限りすべての児童や保護者が制度を理解して参加

する形になるよう検討すべきであると考えている。

実施する場合の課題としては、洗口液の準備作業にかかる学校の日課等への影響や、実施を希望していない児童への配慮のあり方など様々な事項について、慎重に検討する必要があるほか、財政負担もあることから、他の自治体での導入事例等を踏まえながら、引き続き検討していきたい。

なお、平成24年度から裏議員の質問を踏まえ、小学校全校で歯科衛生士による歯みがき指導を実施しており、今後も、むし歯予防に努めていきたい。」と、答えています。

これに対して、裏議員からは、全員が希望するなどあり得ないし、課題については、既に道のガイドブックに答えが出ており、後はどのようなスケジュールで意思決定をするかの問題ではないのか、との再質問があり、答弁では、「これまで学校で実施する保健事業は、全員で行うことを基本に進めてきているので、フッ化物洗口についても、できる限りすべての児童や保護者が、制度を理解して参加する形になるよう検討することが大切と考えている。しかし、保護者の中には、フッ化物に対する不安を抱く方もおり、希望者だけ実施することには賛否もあると考えられることから、いつまでに意思決定するかについては、北海道のガイドブックも参考にしながら、関係機関との協議のあり方も含め、実施する場合の諸課題について、他の自治体での導入事例等を踏まえて、引き続き検討していきたい。」と、答えています。

次に、山本議員から、小・中学校のICT活用の強化について、2点の質問があり、まず1点目のICT活用で学力向上を目指すことについての質問への答弁では、「ICT教育環境の整備については、江別市学校教育基本計画において、学習意欲の向上を図る教育環境の整備を基本的施策と位置づける中で積極的に推進してきており、学力向上のために重要であると考えている。

これまで、平成25年度から2カ年で電子黒板を小・中学校の全学級に配置したほか、今年度新校舎が完成した江別太小と第一中では、各教室に校内LANを配備することにより、授業でインターネットなどを活用できる環境も整備しているところである。

各学校では、電子黒板、実物投影機などの活用方法に関する校内研修や、教員間での学習会などを実施しており、市教委も、電子黒板の基礎研修を定期的実施するなど、各種研修を通じて、広くICTが活用されるよう努めているところである。

また、来年度開校する第一小については、江別市のICT教育のモデル校として、最新のICT教育環境を整備することにより、わかりやすい授業のための実証研究を行うとともに、夏休みや放課後の学習サポート等への活用を図っていききたいと考えている。

市教委としては、今後も一層、小・中学校のICT教育環境を整備し、学校での活用を促進しながら、学力向上に努めていきたい。」と、答えています。

次に、2点目のICTを活用したデジタル教科書などの利用による思考力や表現力の向上についての質問への答弁では、

「デジタル教科書には、指導者用と学習者用があり、このうち、教員が電子黒板等で提示して活用する指導者用については、現在、ほとんどの教科のものが発行されるようになってきており、理解の深まりや、話し合い活動の活発化などの効果があり、わかりやすい授業に寄与すると考えられているが、購入費用の負担が大きく、全国的な普及については、まだ始まったばかりという状況である。

市教委としては、学校から電子黒板をさらに効果的に活用するためデジタル教科書の導入を求める意見が出されていることから、導入について検討中であるが、購入することになった場合には、授業や話し合い活動での思考力や表現力を高め、わかりやすい授業を実現して学力向上を図る観点で選定したいと考えている。」と、答えています。

これに対して、山本議員からは、2点とも再質問があり、1点目については、モデル校だけに限らないICTの整備をしていくべきではないかとの内容であり、答弁では、「江別市の教育におけるICTの活用については、学校教育基本計画の基本的施策に基づいて推進していることから、まずは、モデル校において実証研究の中で、学習意欲を高め、効果を引き出すICT教育のあり方や方策を見出し、江別市全体の学力向上に反映させていきたい。」と、答えています。

次に、2点目については、低学年から理解のできる方策を取り入れ、1科目でもデジタル教科書を導入してみてもどうかとの質問であり、答弁では、

「市教委としては、学校からデジタル教科書の導入を求める意見が出されていることか

ら、導入を検討しているところであるが、ご指摘のあった、低学年が理解しやすい方策も含め、検討していきたい。」と、答えています。

次に、清水議員から、所得の格差と教育の市内状況の把握と今後について、所得の格差と子どもの教育格差は密接であるが、市内の小・中学生の学力平準化に向け、どのような努力をするのか、との質問があり、答弁では、「平成26年1月に、子どもの貧困対策推進法が施行され、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、国や地方自治体などの関係機関により、様々な施策が実施されることが求められていると認識しており、学校教育においても、家庭の経済状況にかかわらず、すべての子どもが質の高い教育を受け、能力や可能性を伸ばしていけるようにすることが必要であると考えている。

そのため、市教委では、少人数指導や学習サポートによる基礎学力の定着、学校図書館の整備充実、就学援助、スクールソーシャルワーカー事業、中学校での放課後学習など、所得の格差にかかわらず、学ぶ意欲のある子どもの学習機会が充実するよう取り組んできたところである。市教委としては、今後も市内の小・中学生が等しく、意欲を持って学習していけるよう、学校教育の充実を図っていきたい。」と、答えています。

次に、宮川議員から、高齢者、障がい者の方が読みやすい大活字図書の関連で2点、文化芸術による子供の育成事業の関連で1点の質問があり、まず、大活字図書についての1点目として、整備の現状と課題を尋ねる質問への答弁では、「情報図書館では、平成元年度の開館時は6冊の所蔵だったが、段階的に整備を進めた結果、現在は931冊を所蔵している。最近は弱視の方向けの22ポイントの出版物が増え、情報図書館で購入する大活字図書の多くは22ポイントとなっている。

課題としては、貸出冊数が平成23年度の4000冊をピークに減少しているので、出版される書籍数が限られ価格も高価な大活字図書については、それらを必要とする方々のニーズをこれまで以上に的確に把握したうえで、選書をしていく必要があると考えている。」と、答えています。

次に、2点目の大活字図書の整備拡充についての質問に対する答弁では、「市としては、障がいの有無や年齢にかかわらず、あらゆる方が等しく読書に親しめるよう蔵書の内容を充実することが重要と認識していることから、ニーズを的確に把握して、大活字図書の拡充に努めるとともに、まだ大活字図書を所蔵していることを知らない方へのPRも含め、ホームページや情報図書館だより等で、一層工夫して周知を図ってきたい。」と、答えています。

次に、文化芸術による子供の育成事業について、その考え方と取り組みを尋ねる質問があり、答弁としては、「当該事業は、巡回公演事業、芸術家の派遣事業など3つの事業で構成され、文科省及び文化庁が実施している。

道内の小・中学校においても、日頃一流の芸術に触れる機会の少ない地域を中心に、オーケストラや演劇等の鑑賞が行われているが、公演の種目や開催時期・回数に限られ、今年度、道内では35校での開催に止まり、市内小中学校において活用実績はないが、引き続き学校に対し周知し、活用されるよう働きかけたいと考えている。

市独自の取り組みに関しては、平成26年度実績として、劇団等を招いた演劇や音楽等の鑑賞が、中学校1校、小学校17校で実施されているほか、当市で行っているプロの芸術家を招へいた質の高い舞台芸術の公演には小中学生を無料招待している。

さらに、参加型の取り組みとして、市民ミュージカルには児童・生徒も出演しており、えべつ土曜広場では日本舞踊や琴などの日本の伝統文化に触れている。

市教委としては、質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会が充実することは、心豊かな子どもの育成につながると認識しているため、児童・生徒の文化芸術等への関心を高める様々な取り組みについて、引き続き充実を図ってきたい。」と、答えています。

最後に、徳田議員から、認知症施策推進総合戦略を踏まえた江別市における認知症対策に関連して、学校教育における認知症理解の推進についての質問があり、答弁では、「認知症について正しく理解することにより、偏見を持たずに、認知症の人やその家族の気持ちを理解したり、温かい目で見守ったりするなどの意識を醸成することは、子どもたちにとっても大切なことであると認識している。

市内の学校では、高齢者疑似体験や福祉施設への訪問による学習を行うほか、学校行事等において高齢者と交流する機会を設けるなど、様々な形で福祉に関する学習に取り組ん

<p>斉藤教育部長</p>	<p>でおり、その一環で、健康福祉部やNPOの協力を得て認知症サポーター養成講座を実施する学校もあり、認知症を正しく理解する取組も行われているところである。</p> <p>市教委としては、認知症を正しく理解するため、今後も各学校が「認知症サポーター養成講座」を学年などの状況に応じて積極的に活用するよう、健康福祉部と連携を図りながら、学校に周知していく。」と、答えています。</p> <p>以上です。</p>
<p>支部委員長</p>	<p>ただいま報告のありました「平成27年第4回江別市議会定例会の一般質問について」、質問等がございましたらお受けします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>次に、報告事項(2)「平成28年度学校選択制にかかる申請状況について」の報告を求めます。金子学校教育課長お願いします。</p>
<p>金子学校教育課長</p>	<p>報告事項(2)平成28年度学校選択制にかかる申請状況についてご報告いたします。</p> <p>学校選択制につきましては、平成28年度の小中学校入学予定者の保護者に対し、8月下旬に制度の案内や申請書等の書類一式を配布し、10月14日から1カ月間、選択希望の申請を受け付けました。その後、11月27日まで申し込みの変更を受け付け、このたび結果がまとまりましたので、ご説明いたします。</p> <p>資料には、各小学校・中学校それぞれの、校区内の入学者数、受入枠数、選択制の申請者数などを掲載しております。</p> <p>表の左側から4番目、②がその学校への入学希望者数で、その二つ右の③が逆にその校区から他の学校を希望した人数です。</p> <p>表の一番右側の「②の内訳」は、どの校区から何人がその学校を選択したかを記載しております。一番上の江別第一小学校を例にとりますと、選択制の申請により江別第一小学校を希望した人数は3人で、その内訳は、北光小校区から2人、上江別小校区から1人であり、逆に6人が、他の学校を希望したということを表しています。</p> <p>また、表の左から2番目の①は、12月1日現在の校区内の入学者数で、選択制に伴う人数の増減を加味したものが表の右側から三番目の①+②-③「新1年生の入学者数」となっております。その人数を基に算出したクラス数の見込みが、表の右側から2番目の「学級数」となります。</p> <p>全体的な結果としましては、特認校制度を含めた申請者数は、小学校で58名、中学校で56名、合計114名となりました。</p> <p>入学予定者全体に占める割合は、小中学校全体で、5.97%です。</p> <p>また、参考として表に掲載した平成27年度の申請者数と比較すると、小学校が7名の増、中学校が13名の減で、全体では6名の減となっております。</p> <p>各学校とも、申請者数が受入枠以内の人数であったため、申請者全員に対し、決定の通知を12月3日付けで出したところです。</p> <p>最終的な入学者数は、今後の転入・転居等の移動に伴う分を加えて、来年の4月1日付け学級編制により確定する予定です。</p> <p>以上です。</p>
<p>支部委員長</p>	<p>ただいま報告のありました「平成28年度学校選択制にかかる申請状況について」質問等がございましたらお受けします。</p>
<p>橋本委員</p>	<p>この受け入れ枠は、もともとの校区内の入学者数の予定で決まる学級数を変えないように決めているのでしょうか。</p>
<p>金子学校教育課長</p>	<p>もともとの校区内の入学予定者数で学級数が予測できるのですが、例えば、その学校で空き教室がある程度確保できる場合は、1教室増を見込んで受け入れ枠を設定する場合があります。逆に少人数の習熟度別などで、空き教室であっても使っていることがありますので、このように空き教室がなかなか作れない状況であると、予定する入学者数でカウントされた学級数で納めるというような設定をする場合もあります。</p> <p>以上です。</p>
<p>橋本委員</p>	<p>例えば転入してくる児童生徒がいた場合、この受入枠のさらに残りの部分しか受け入れられないということでしょうか。</p>

金子学校教育課長	ある程度その地区ごとに、この期間内にどのくらいの転入の可能性があるかということ を計算したうえで、この受入枠以外に転入余裕分を用意して計算していますので、例年通 りプラスアルファの転入者がいても、予定する学級数でいけるよう計算して受入枠を設定 しております。
支部委員長	今の話ですと、過去の転入者数の実績値みたいなデータがあって、それを基に余裕率を 見て、それを超えるようであれば、例えば2クラスから3クラスに増える可能性もあると いう考え方でよろしいでしょうか。
金子学校教育課長	はい。元が2クラスだとすれば、3クラスに増やせるようであれば、増やしますし、増 やせないようであれば、その枠内だけで余裕分をみることになります。
橋本委員	もし、受入枠を超えて申請があった場合は、抽選になるのでしょうか。
金子学校教育課長	はい、抽選ということになります。
支部委員長	その他、質問等ありますでしょうか。
橋本委員	特認校の野幌小学校について、今回9名他校から受け入れているということですが、こ の間、野幌小学校の学校行事を見させていただいたときに、校長先生の話をお聞きすると、 各幼稚園や保育園を全部回って、すごく努力したうえで、今年は人数をある程度確保でき たということで、努力が実を結んだのかなと思っています。特認校である程度の教員の人数 が確保できなければ、特色ある教育ができないと思いますので、市の方でもPRとかは もちろんされていると思いますけれども、今後もそのように、学校の先生方だけではなく て努力して盛り立ててあげるようにしていただきたいと思います。
支部委員長	その他、ありませんか。 (質疑なし) それでは、本報告について終了してよろしいですか。 (一同了承)
錦戸教育政策担当参事	次に、報告事項(3)「平成27年度第2回学校一斉公開アンケート集計結果について」 の報告を求めます。錦戸教育政策担当参事をお願いします。 それでは、報告事項(3)平成27年度第2回学校一斉公開アンケート集計結果につい て、ご報告いたします。 資料の1ページをご覧ください。 平成27年度の第2回学校一斉公開は、去る10月19日に実施しております。 見学者数は、私立の立命館慶祥中学校を含む、市内の全小中学校において延べ1,22 6人で、昨年度同時期の見学者数945人から281人増加しております。 また、アンケートの回答者数は613人で、見学者の50%に当たり、昨年度同時期の 回答者数より106人増加しております。 なお、昨年度まで公開対象となっていた札幌盲学校は、北海道高等盲学校と統合し、札 幌市へ移転したため、今回の公開対象からは外れております。 次に、アンケートの集計結果の概要について、申し上げます。 問1では、「学校に自分の家族がいる人」の割合が小学校・中学校とも微減しており、 中学校よりも小学校のほうが、「学校に自分の家族がいる人」の割合が、例年同様かなり 高くなっております。 問2では、「学校一斉公開に来たのが初めてという人」の割合が、小学校・中学校とも 微減しており、問3では、「他の学校も見学するという人」の割合が、小学校では4ポイ ント、中学校では7ポイント増加しており、問2・問3は、いずれも小学校に比べて中学 校のほうが、かなり高い割合となっております。 2ページをご覧ください。 問4では、「学校一斉公開を今後も必要と考える人」の割合が97%、 問5では、「機会があれば今後も学校に来たいと思う人」の割合が98%に上っており、 それぞれほぼ100%に近い数値となっております。 問6では、「学校は地域に開かれていると思う人」の割合が、小学校・中学校とも微減 しておりますが、これは「無回答」の割合が前年度同時期よりも増えたことに起因するも のと思われます。 3ページをご覧ください。 問7では、「学校行事などに協力したいと思う人」の割合は、小学校・中学校とも微減

錦戸教育政策 担当参事	<p>しておりますが、これにつきましても、「無回答」の割合が前年度同時期よりも増えたことに起因するものと思われます。</p> <p>問8の「見学した学校の印象」及び問9の「児童・生徒の様子」については、「大変よい」と「よい」を足した割合が、小学校ではいずれも増加しているものの、中学校ではいずれも減少しております。</p> <p>中学校については、「普通」と「無回答」の割合が、前年度同時期よりも高くなっていることから、今後も挨拶の徹底や、授業態度の向上などに取り組んでいく必要があるものと思います。</p> <p>なお、4ページから8ページにかけましては、学校の印象、児童・生徒の様子のほか、江別市の教育等に関する意見や感想などを掲載しておりますので、こちらについてもご参照いただきたいと思います。</p> <p>以上でございます。</p>
支部委員長	<p>ただいま報告のありました「平成27年度第2回学校一斉公開アンケート集計結果について」質問等がございましたらお受けします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p>
佐々木生涯学 習課長	<p>次に、報告事項(4)「平成28年成人のつどいの開催について」の報告を求めます。佐々木生涯学習課長をお願いします。</p> <p>平成28年成人のつどいの開催についてご説明いたします。</p> <p>資料をご覧ください。</p> <p>平成28年の成人のつどいにつきましては、年明けの1月10日、日曜日の午後2時から、市民会館で実施いたします。</p> <p>今回の対象者は、平成7年4月2日から平成8年4月1日生まれの方で、対象者数は男性が777名、女性が663名の計1,440名で、昨年より126名の減となっております。</p> <p>当日は、市長に出席をいただき、来賓として、市議会議長、道議会議員にご臨席いただく予定です。</p> <p>今回も、成人者の代表者による実行委員会を設け、決意発表のほか、オープニングのアトラクションに、えべつまっことええ&北海道情報大学チームのよさこいソーラン演舞を予定しています。</p> <p>昨年、平成27年の参加状況は1,153名、出席率は73.6パーセントとなっております。</p> <p>以上です。</p>
支部委員長	<p>ただいま報告のありました「平成28年成人のつどいの開催について」質問等がございましたらお受けします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>続いて、2の審議事項に入ります。</p>
錦戸教育政策 担当参事	<p>(2)平成27年議案第47号「平成26年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について」の説明を求めます。錦戸教育政策担当参事をお願いします。</p> <p>平成27年議案第47号「平成26年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について」ご説明いたします。</p> <p>報告書の表紙をめくっていただき、「はじめに」をご覧ください。</p> <p>この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検と評価を行い、議会に提出し、公表しようとするものであります。</p> <p>1ページをご覧ください。</p> <p>まず、第1章の「点検及び評価について」ですが、本報告書の作成に当たっての基本的事項についての説明でございます。</p> <p>点検及び評価の対象となりますのは、平成26年度に実施した事務事業等を対象としており、点検及び評価の手法と方針につきましては、教育委員会の活動状況を明らかにする</p>

<p>錦戸教育政策 担当参事</p>	<p>とともに、教育に関する事業を個別に評価し、今後の改善を図ろうとするものであります。 また、学識経験者等の知見の活用につきましては、平成24年度から導入した手法で独自の外部評価を行い、3回の会議で外部評価委員に意見を伺いました。 2ページをご覧ください。 第2章の「教育委員会の活動状況に関する点検及び評価」であります。9項目にわたり記載しております。 初めに、教育委員会委員の氏名や会議の開催状況等が記載されており、3ページから9ページまでは会議の具体的な件名を、10ページでは審議等の状況を記載しております。 11ページは、条例・規則等の制定、計画等の策定状況となっております。 12ページは、教育委員会委員の活動状況を、13ページは、教育委員会に設置されております各種審議会等の状況を記載しております。 14ページからは、平成26年度予算の状況について記載しております。 平成26年度の当市の政策は、第6次総合計画に基づき9つの政策と、その下に位置付けられる96の取組の基本方針から構成されており、教育委員会所管は、「政策06子育て・教育」、「政策07生涯学習・文化」、「政策08協働」の3つが該当するものであり、この政策の下に位置付けられる取組の基本方針別の主な事業の取組内容を15ページから17ページにかけて記載しております。 18ページと19ページは、行政改革の取組についての記載であります。 20ページから27ページまでは、青少年文化賞・スポーツ賞や文化・スポーツの奨励賞、さらには教育委員会表彰を受賞された個人や団体を記載しております。 28ページは、学校適正配置の取組についての記載であります。 29ページ以降は、第3章の「教育に関する事業の点検及び評価」についての記載であります。 点検・評価は、総合計画に基づく事務事業を単位として行いますが、事業総数が多く、一度にすべての事業の点検・評価を行うことが難しいため、平成26年度から5か年で全体を一巡するよう、計画的に外部評価委員による点検・評価を実施することとしております。 今回は、学校教育部門から「政策06子育て・教育」の7事業と、社会教育部門から「政策07生涯学習・文化」の10事業の全17事業を対象としております。 30ページは対象事業の一覧で、これらの事業の概要を所管課長等から説明し、外部評価委員からご意見やご指摘などをいただきました。 31ページから64ページにかけましては、事業ごとの事務事業評価表を添付しております。 65ページから最終ページまでは、外部評価委員からいただいた意見を掲載しております。 なお、今後の予定であります。江別市議会の正副議長と総務文教常任委員会委員へ本報告書を配付するとともに、情報公開コーナー等で閲覧できるようにするほか、教育委員会のホームページにも掲載するなど、広く市民周知を図るものであります。 以上、ご説明申し上げましたので、よろしくご審議願います。</p>
<p>支部委員長 上野委員</p>	<p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けします。 31ページからの各事務事業評価について、例に挙げると、32ページの上から2段目の表「平成26年度の実績による担当課の評価」の一番上、一番左側に「妥当である」と「妥当性が低い」と2つの選択肢がありますが、この項目について選択された、網掛けとなっている「妥当である」が目につかず、網掛けとなっていない「妥当性が低い」の方が目についてしまい、この項目について「妥当性が低い」が選択されているという誤解を招いたので、表記の仕方を変えた方が良いと感じました。</p>
<p>支部委員長 郷委員 錦戸教育政策 担当参事 支部委員長</p>	<p>その他、ありませんか。 ホームページにもこの資料が載るといことですが、全部載るのでしょうか。 提出している資料すべてを載せることとなります。 それでは、平成27年議案第47号「平成26年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について」を承認することにご異議ありませんか。 (一同了承)</p>

支部委員長	<p>それでは、そのように承認いたします。</p> <p>次に、平成27年議案第48号「平成28年度江別市一般会計教育予算要求案について」の説明を求めます。齊藤教育部長お願いします。</p>
齊藤教育部長	<p>議案第48号 平成28年度江別市一般会計教育予算要求案は、地方教育行政法に基づき、教育予算に関して教育委員会のご意見をいただくものであります。</p> <p>1ページに記載の平成27年度当初予算額は54億8,673万4千円ですが、国の緊急経済対策により本年3月に平成26年度補正予算として、第三小学校円形校舎解体工事を前倒しで計上したうえで今年度に繰り越している額が6,063万6千円ありますので、実質的な意味での平成27年度当初予算額は55億4,737万円でございます。</p> <p>そして、平成28年度要求額であります。統合校の新築工事、江別小の解体工事、屋体非構造部材耐震改修工事、各公民館改修工事、大麻体育館耐震改修工事など建設工事関係が多く含まれているため、今年度とさほど差がなく、53億1,153万3千円という巨額の予算要求になっております。</p> <p>なお、本年10月の定例教育委員会でご説明申し上げた、平成28年度に予定していた屋体非構造部材耐震改修工事のうち、4校分1億591万6千円を27年度に前倒して予算措置をする補正予算は、先の第4回市議会定例会で議決されておりますので、実質的には、この金額も上乘せになるものでございます。</p> <p>教育委員会にお諮りするのには、10月定例委員会での予算編成の基本方針説明から数えて今回で3回目となりますが、現在、予算査定作業中であり、今後変更はあろうかと存じます。</p> <p>本日は、前回ご説明いたしました内容からの主な変更点について、該当のある担当課長からご説明の上、ご意見をいただくものでございます。それでは所管からご説明申し上げます。</p>
大村総務課長	<p>私から総務課予算分について、ご説明いたします。</p> <p>資料4ページをご覧ください。</p> <p>下から2行目の「旧江別小学校跡地整理事業」についてであります。</p> <p>来年3月で廃校となる江別小学校の敷地内に登記のない無番地の土地があることが判明しました。</p> <p>登記のない無番地については、国有地となることから、国から当該土地を購入するとともに、過去10年間の既往使用料を支払うものです。</p> <p>購入代金及び賃借料を含めた予算額につきましては、資料に記載の通りです。</p> <p>各課所管分の説明については、総務課のみです。</p>
大村総務課長 支部委員長 郷委員 三富学校施設 整備計画担当 参事	<p>以上です。</p> <p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けします。</p> <p>上江別小学校のトイレ改修工事とはどのようなものでしょうか。</p> <p>ご質問のありました上江別小学校トイレ改修工事でございますが、この学校は児童数が約800人とかなり多くの児童がおりますが、和式のトイレが多いため、適正な規模で様式トイレに置き換えるという工事です。</p>
支部委員長	<p>以上です。</p> <p>3ページの上から4項目目の中学校施設管理経費、中学校の光熱水費、暖房用重油、灯油等とありますが、平成27年度予算額と比べ平成28年度要求額が減っています。それと同じように、3ページの上から12項目目の小学校施設管理経費も平成27年度予算額と比べて平成28年度要求額が減っています。</p> <p>これは根拠として、各学校に太陽光パネルが入ることによって光熱費が減ることになったとか、昨今の石油価格の下落によるとか、いろいろあるかと思いますが、いかがでしょうか。</p>
大村総務課長	<p>一番の大きな理由は、今お話しのとおり、石油単価の下落が影響しております。</p> <p>以上です。</p>
支部委員長 上野委員	<p>その他、ありませんか。</p> <p>6ページの教育支援課の上から3項目目「特別支援学級通学付添費」の廃止ですが、これは付添の方がいないということで廃止になったのでしょうか。</p>
浦田教育支援 課長	<p>通学付添費ですが、上から4項目目「教育扶助（特別支援教育）」に組み込みました。</p> <p>現在、付添については、車で付き添っているのがほとんどで、公共交通機関によるもの</p>

浦田教育支援課長	<p>が少しあるといった状況です。</p> <p>車による付添費につきましては、今まで「教育扶助（特別支援教育）」の中の通学費では、1キロメートル未満の付添については支給しなかったのですが、1キロ未満も支給することにしました。これにより、近距離がほとんどであった車による付添について通学費から支給できることになったので、「教育扶助（特別支援教育）」の中の通学費に組み込みました。</p>
支部委員長	<p>公共交通機関による付添についても「教育扶助（特別支援教育）」の中の通学費に組み込みました。</p> <p>以上です。</p> <p>その他ありませんか。</p> <p>（質疑なし）</p> <p>それでは、平成27年議案第48号「平成28年度江別市一般会計教育予算要求案について」を承認することにご異議ありませんか。</p> <p>（一同了承）</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p> <p>次に平成27年議案第49号「平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査『北海道版結果報告書』への掲載同意について」の説明を求めます。金子学校教育課長お願いします。</p>
金子学校教育課長	<p>議案第49号「平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査『北海道版結果報告書』への掲載同意について」ご説明いたします。</p> <p>全国体力・運動能力、運動習慣等調査は、毎年、文部科学省の実施要領に基づき、小学5年生と中学2年生を対象に、実技に関する調査として、握力、上体起こし、長座体前屈等の計8種目を行うほか、児童生徒および学校に対する質問紙調査を実施しております。</p> <p>昨年から、都道府県教育委員会が市町村教育委員会の同意を得た場合に、市町村名又は学校名を明らかにした公表を行うことが可能になったことを受けまして、平成26年度の調査結果については、昨年12月の定例教育委員会においてご承認をいただき、北海道教育委員会が作成した市町村名を明らかにした報告書において、江別市の結果が公表されております。</p> <p>まず、1の同意内容につきましては、北海道教育委員会が一層きめ細かくわかりやすい調査結果を示す観点から、市町村名を明らかにした資料により、江別市の児童生徒の体力合計点や各種目別のレーダーチャート、分析結果や改善方策等を掲載し、公表することについて、同意を求めているものです。</p> <p>2の同意理由につきましては、江別市教育委員会といたしましては、調査の結果を様々な角度から一定の数値により分かりやすく公表することにより、学校・家庭・地域・行政が地域の体力の課題を共有し、教育施策の改善や児童生徒の体力向上に取り組むことが重要であることから、北海道教育委員会の公表依頼に同意したいと考えるものです。</p> <p>具体的な公表の内容につきましては、資料の2ページ以降に、例が示されておりますのでご覧ください。</p> <p>2ページの様式を基本フォーマットとして、3ページから4ページに記載されているデータ例を参考とした分析結果を掲載する形で作成され、各市町村につき、小学校分1枚・中学校分1枚それぞれ作成するもので、昨年と同様の考え方による公表となります。</p> <p>なお、公表の時期につきましては、2月を目途に予定しているとのことです。</p> <p>以上、ご説明いたしましたので、ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。</p>
支部委員長	<p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けします。</p> <p>（質疑なし）</p> <p>それでは、平成27年議案第49号「平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査『北海道版結果報告書』への掲載同意について」を承認することにご異議ありませんか。</p> <p>（一同了承）</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p> <p>続いて、3のその他に入ります。</p> <p>各課所管事項「（1）情報モラルリーフレットの配布について」の説明を求めます。浦田教育支援課長お願いします。</p>

浦田教育支援課長	<p>私から、各課所管事項（１）情報モラルリーフレットの配布について説明いたします。江別市教育委員会では、江別市PTA連合会と協力して、情報モラルに関するリーフレットを作成いたしましたので報告いたします。</p> <p>本日、配布されている資料の最後、教育委員の皆様にはカラー刷りの資料が配られていると思いますが、表題は「かしこいインターネットの使い方」の資料をご覧ください。</p> <p>まず、このリーフレットを作成した目的ですが、ご承知のとおり、年々、小中学生におきましても、スマホ等の所持率は増大し、かつ低年齢化しております。これらのインターネットを活用する機器等については、利便性に反して、ネット依存による健康被害や個人情報情報の流出、出会い系サイトのネットトラブル等の危険性をはらんでいます。このことから、子どもたちが安全安心して暮らしていくために、情報モラル教育は重要なことから、市教育委員会主導で、リーフレットを作成したものであります。</p> <p>このリーフレットの特徴ですが、２点あり、１点目は、児童生徒が自発的に考えてもらえるようにQ&A方式としたことであります。このリーフレットを開いていただき、両側のページをご覧ください。今回は、６つのQ&Aを掲載いたしました。内容については記載のとおりであります。</p> <p>もう一点は、家庭でのインターネットルール作りについての欄を設けたことであります。リーフレットの最後のページをご覧ください。情報モラルの学習のためには、学校から教えるだけでなく、保護者と児童生徒が、一緒にネット利用等について考え、家庭でのルールづくりについて、取り組むことが大切であります。ここに記載のあるとおり、今回は、７項目について掲載したところであります。</p> <p>今回のリーフレット配布の対象ですが、市内公立の小学校４年生～中学校３年生迄の全児童生徒とし、１２月中に各校から配布されております。配布する際には、担任の教員等からQ&Aで留意することや家庭でのルール作りについて、児童生徒と一緒に考える時間を持ち、渡しております。また、市HPでも周知することを予定しております。</p> <p>なお、今後ですが、この情報モラルリーフレットについては、学校からアンケート等で意見を聞き、内容を変えながら、次年度以降も発行する予定であります。</p> <p>以上です。</p>
支部委員長 上野委員	<p>本件に対する質問等がございましたらお受けします。</p> <p>この件については、損害賠償に発展したとか、先日も電車の中で写真を撮ったら問題になったといった事件もありましたので、次回で良いので、そういったことも考えていただければと思いました。</p> <p>以上です。</p>
支部委員長 浦田教育支援課長	<p>これは、初めて小中学生に出すものでしょうか。</p> <p>市の教育委員会として作成して配布するのは初めてです。これまで北海道教育委員会からは、保護者向けが多かったのですが、各学校に配布していました。</p> <p>今回のリーフレットは、江別市教育委員会とPTA連合会が連名で発行しているのですが、今回が初めてで、児童生徒向けとして作成し配布しております。</p>
支部委員長	<p>インターネットでのいじめについては、テレビのニュースなどで見っていますが、非常に重要な部分かと思っておりますので、よろしくお願ひしたいなと思っております。</p>
郷委員	<p>小学校４年生以上に配布とのことですが、小学生には見づらいという印象を受けました。英語の表記があったりして、読みにくい部分があります。手間はかかると思うのですが、小学生向き、中学生向きがあると良いと思いました。</p> <p>また、携帯の表示画面を載せたり、ラインの文章の書きこみを載せて、こういうやり取りってどうなんだろうとか、事例を載せた方が良いかと思っております。</p>
橋本委員	<p>ただ、こういったリーフレットが発行されたことは良いことなので、もし検討することがあれば考えてみてください。</p> <p>同じようなことですが、４年生だと漢字が全部読めるのかなというところがあるので、ルビが必要かと思っております。</p> <p>また左の最後のところに、「軽い気持ちでネットにのせた写真から、自宅の場所がバレちゃうなんてことも……。十分に注意しよう」という記載がありますが、自宅の場所がばれたら、どうしてだめなのかということが小学生には理解できるかな、というのが心配なところなので、そこは、「軽い気持ちで写真をのせたら悪い人がついてきちゃうよ」とか工夫していただければと思いました。ちょっと難しいかなといった印象を受けました。</p>

浦田教育支援 課長	今回、来年度予算要望としては小学校向け、中学校向けに分けられる予算を要望しております。内容については来年以降については精査させていただきます。
支部委員長	次に、次回定例教育委員会予定案件及び日程について、説明願います。大村総務課長お願いします。
大村総務課長	次回の教育委員会の案件でございますが、報告事項として、「平成28年成人のつどいの出席状況について」「中学生国際交流事業受入れについて」などを予定しております。また、次回、定例教育委員会の日程でございますが、1月27日水曜日午後2時からと考えておりますが、各委員のご都合等はいかがでしょうか。
支部委員長	ただいまありましたように、次回の定例教育委員会は1月27日水曜日午後2時からということで、皆様よろしいですか。 (一同了承) 以上をもちまして、第12回定例教育委員会を終了いたします。 (閉会)

終了 午後3時04分

署名人（委員長）支部 英孝

署 名 人 橋本 幸子